

袖垣治彦 木版画展(第Ⅰ期)

飛驒の山々、溪流、高原を彫る

2026 5/2 土 — 6/28 日

【開館時間】 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】 月曜日(月曜が祝日の場合は、翌平日)

【入館料】 一般 200円(20名以上の団体料金160円)/高校生以下は無料

※各障がい者手帳ご提示の方は100円

※第3日曜日は家族ミュージアムの日により無料

【主催】 飛驒市教育委員会

【共催】 飛驒の匠学会

飛驒市美術館

袖垣 治彦 木版画展(第I期) ～飛驒の山々、溪流、高原を彫る～

袖垣治彦氏(昭和4年、旧古城郡上宝村蔵柱 生まれ)は昭和29年、岐阜大学美術工芸学科を卒業後、教職に就き、戦後の飛驒地方の中心的な指導者の一人として、共同木版画の実践等、地域の版画教育に力を注いできました。

一方で彼は、自らも早くから木版画の制作に取り組んでいます。名古屋市での数回にわたる個展開催をはじめ、木版画集「飛驒の民具」を発刊や、岐阜県展や日本版画協会展、飛驒高山現代木版画ビエンナーレへの出品等、これまで数多くの木版画を手がけてきています。

袖垣氏は木版画のモチーフの多くを、飛驒地方の山々や溪流、高原などの自然に見出し、清新な表現を生み出してきました。今回の展覧会(第I期)では、生まれ育った旧上宝村蔵柱や双六谷の風景木版画、また飛驒の地域を巡って歩き、惹かれる場所を彫り上げた旧古城郡宮川村や河合村の木版画等、飛驒の自然をテーマにした作品を中心に展覧します。あわせて、袖垣氏の生命感あふれる抽象の木版画の世界もお楽しみください。



袖垣治彦氏 近影

天生峠、月ヶ瀬、寂しいところやよ、
あの辺は、人もそうおらんしな…

この場所、寒かった…

二月か三月やでなあ、
車置いてスケッチしたんやさ…

【トークイベント】袖垣治彦氏 自作を語る

袖垣治彦氏が展示室を巡りながら、自身の版画作品について語ります。その場でスケッチした思い出、アトリエに持ち帰り、摺りを手がけたことなど、制作の過程をお話いただけます。

【期 日】6月21日(日) 午後2時～

【場 所】第一展示室 ※参加無料 予約不要(第3日曜日のため入館料無料)

【親子ワークショップ】葉っぱで作るミニ行灯(あんどん)

自然の素材を使ったスタンピングを楽しみます。その後、和紙を使った行灯づくりに挑戦します。暗闇にぼっと柔らかな光が灯ります。

【講 師】松見ひろ子氏(木版画家)

【期 日】6月14日(日) 午後1時30分～

【場 所】古川郷土民芸会館

【参加費】300円 ※要申込(定員:親子15組)

私の好きな「袖垣治彦の木版画」

来館者の方々が選んだ「袖垣治彦の木版画」を会期中、多目的室で紹介します。袖垣治彦の木版画の魅力を、多くの人で分かち合ひましょう。

【期 日】展覧会期中

【場 所】多目的室



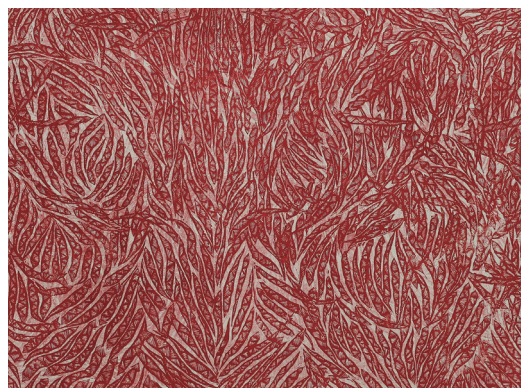
「春の乗鞍」(平成14年頃)



「双六谷1」(平成9年)



「板蔵」(平成27年頃)



「炎燐」(平成23年)

飛驒市美術館

〒509-4221 岐阜県飛驒市古川町若宮2-1-58

TEL 0577-73-3288 FAX 0577-73-5003

〈アクセス〉

JRにて、高山本線「飛驒古川駅」下車、跨線橋を渡り徒歩5分。

・富山よりJR高山本線・特急で約1時間15分。

・名古屋よりJR高山本線・特急で約3時間。

・お車にてお越しの場合は、市営飛驒古川駅東駐車場をご利用ください。

・東海北陸自動車道、清見ICより卯の花街道を通り約30分。

